授業づくり研修講座　実践レポート

座間市立中原小学校　　氏名　永井　直樹

単元名　　第　２学年　　「よくかんさつして書こう　」

実践のポイント（工夫）

・ワークシートを使い、観察したものの様子が良く分かるように、見たり、聞いたり、さわったりしたことをくわしく書いて伝え合う。

実践内容

|  |
| --- |
| 全文を読み、学習の見通しを持ち、学習計画を立てた後、以下の順で学習を進めた。  １　題材を選ぶ  　・児童の身近にいるもので、生活科の虫探しで捕まえたものや家で飼育しているものなどを選ばせた。児童の選んだものは、カマキリ、バッタ、チョウ、カブトムシ、ダンゴムシ、ザリガニ、金魚などであった。  ２　詳しく観察する。  　・次のことに留意させ、観察させた。①よく見る。（色や形、大きさ、動きなど）②音や声を聞く。③ふれたりなでたりする。④においをかぐ。  　・観察したことを伝える文なので、特に「見ること」を丁寧に行わせた。  　・虫は鳴かないものもあるので、動く様子や跳ぶ様子について擬音語を使い、「　」の文で表すようにさせた。  ３　教材文の例を参考にさせ、観察したことをワークシートに箇条書きに書かせる。  　・ワークシートの観点は、①見てわかったこと　②聞いてわかったこと　③さわってわかったこと　④かいでわかったこと　⑤そのた（見つけたこと、感じたことなど）である。  ・「見てわかったこと」については、色や形、大きさなど特に体の特徴について書かせたが、生き物なので顔の様子（目や鼻や触覚や口などと、その動きなども）について特によく見て書くよう指示した。  　・「見てわかったこと」を具体的に書かせる手立てとして、「～のような」「～みたいな」などの例えを使って書くと良いことを伝えた。  ４　観察したことをそれぞれの観点ごとに短冊カードに詳しく書いていく。  　・各観点において複数カードが必要な場合もあると考え、カードを多めに用意した。  　・メモで不足しているところを補わせたり、調べたことを付け加えさせたりした。  ５　短冊カードを整理したり、並べ替えたりしながら書く順序を決める。  　・観点が同じものは、メモが重複して書かれているものもあったので、省いたり、一つのカードにまとめたりさせた。  　・「書きはじめ」と「おわり（自分の考え・感想）」を付け加えて書かせ、「はじめ」「なか」「おわり」の順をおって書けるようにカードに番号を書かせた。  ６　教材文の清書例をもとに、清書する。  　・カード（段落）が替わるごとに一字下げをする。「」の文は行替えをする等に留意させた。  ７　文章を発表し合い、感想を書いて交流した。 |

振り返り（成果や課題）

1. 成果

・観点を与えて観察させ、ワークシートに記入させたので、どの児童も観点に沿って短冊カードに観察したことを書くことができた。

・短冊カードを使ったので、不要なカードや文を省いて整理したり、カードごとに推敲したりすることができた児童がある程度いた。また、多くの児童は、カードを並べ替えて、書く順序を決め、見た順や調べた順に書くことができた。

1. 課題

・児童の見方・感じ方を生かす題材の選ばせ方が難しかった。

・観察のさせ方に絵や図を書かせてもよかった。

・短冊カードで文を整理するときに、全体的な構成で考えさせるために画用紙で貼るなどの

工夫がほしかった。